

11月12日(土) 9:20-16:40

開始時刻	自由研究発表A	
9時20分	会長挨拶	
9時30分	A1	山本香織・大阪市立豊里小学校／杉本孝美・大阪総合保育大学 持続可能な学校と教員養成とは—小学校現場と教員養成大学の連携モデルの提案
10時00分	A2	塩飽隆子・(一財)ジャパンアートマイル／塩飽康正・(一財)ジャパンアートマイル 持続可能な未来を創造できる次世代を育てる新しい国際教育へ
10時30分	A3	水野克己・(一財)地域地盤環境研究所／乾徹・大阪大学大学院 工学研究科／大嶺聖・長崎大学大学院 工学研究科／北垣 亮馬・北海道大学大学院 工学研究院／遠藤和人・国立環境研究所 福島支部／勝見武・京都大学大学院 地球環境学堂 CSR/ESG/SDGs講座で持続可能な成長戦略を学ぶ教育2022
11時00分	A4	佐々木織恵・開智国際大学／米原あき・東洋大学／北村友人・東京大学 日本のESD実践における機関包括型アプローチの効果—教師による全体論的、多元論的、行動志向的なESD実践との関連に着目して—
11時30分	A5	長岡素彦・(一社)地域連携プラットフォーム VUCA・持続不可能な時代とESD for2030

休憩

	自由研究発表B	
13時00分	B1	中口毅博・芝浦工業大学 総合的な学習活動における小中高大を通じた資質・能力の評価尺度の提案と検証
13時30分	B2	池端弘久・北陸ESD推進コンソーシアム／加藤隆弘・金沢大学／今井和愛・北陸ESD推進コンソーシアム 「SDGs達成に向かうESD」を学び合うためのeラーニング教材制作とコミュニティ創出
14時00分	B3	河本大地・奈良教育大学 地域資源をSDGsでみることの困難性と可能性 —農業遺産「但馬牛(たじまうし)」と神戸ビーフの事例から—
14時30分	B4	Wafaa Gad ABDU, Doctoral Student at Graduate School of Human Sciences, Osaka University.／Beverley YAMAMOTO, Graduate School of Human Sciences, Osaka University. Realizing Food Sustainability through Local Communities: The case of Flowers and Greenery Network Toyonaka.

※ サイドイベント 日本ESD学会若手の会 は中止とさせていただきます。

11月13日(日) 9:20-16:40

開始時刻	自由研究発表C	
9時20分	実行委員長挨拶	
9時30分	C1 横溝彰彦・久留米工業高等専門学校	高校旧課程教科書におけるSDG10「人や国の不平等をなくそう」の鍵語分析
10時00分	C2 鈴木隆弘・高千穂大学	高等学校公民科におけるESDの新たな展開 –「公共」教科書の分析を通して–
10時30分	C3 星 裕・北海道釧路町立昆布森小学校	持続可能なまちづくりの担い手としての資質・能力の育成を目指したカリキュラムの開発と評価 –総合的な学習の時間「昆布森PR大作戦」と道徳科の関連を図って–
11時00分	C4 ト部匡司・広島市立大学	総合的な探究の時間におけるESDの教授学コンセプト
11時30分	C5 濱野優貴・滋賀県立彦根東高等学校	滋賀県発・琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」の学びをプロジェクト型課外学習にどう位置付けるか?—地域の官民と連携した起業家教育—

休憩

	自由研究発表D	
13時00分	D1 松井晋作・桐蔭横浜大学	日本における「生態学的な世界への帰属」を軸にした気候変動教育の在り方
13時30分	D2 関東地方ESD活動支援センター	地球温暖化適応策と水害対策に向けたリテラシー・スキル向上のための統合的ESD ~縄文期の温暖化の痕跡から学ぶ、ハザードマップの理解、避難所開設訓練を通じた取り組み
14時00分	D3 近藤美麻・環農水研生物多様性センター／山本義彦・環農水研生物多様性センター	小学校教員の生物多様性への理解と教育の実践に向けた課題
14時30分	D4 棚橋乾・全国小中学校環境教育研究会／水谷瑞希・信州大学教育学部	小・中学校におけるESD実践の効果についての考察

休憩

15時10分	サイドイベント JMOOC
--------	---------------